



道の駅
よこはま菜の花プラザ
Yokohama Nanohana-plaza

道の駅よこはまエリア地方創生拠点形成 令和元年度取り組み状況

資料 1



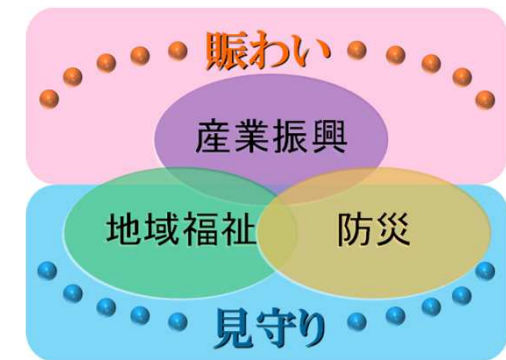
令和元年10月4日
横浜町・青森県

道の駅よこはまエリア
地方創生拠点完成イメージ

道の駅「よこはま」エリア地方創生基本計画の概要

- 道の駅「よこはま」を含む周辺エリアを地域資源として捉え、“**賑わい**”と“**見守り**”を基本コンセプトとする「**産業振興**」+「**地域福祉**」+「**防災**」の3機能を有する「**地方創生拠点の形成**」を目指す。
- 横浜ICと道の駅「よこはま」エリアとの連携**により、**下北半島縦貫道路の休憩・情報施設**としての活用を図る。

※道の駅「よこはま」エリア・・・小中学校やガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどの施設が集積する道の駅を含めたエリア。既存施設の有効活用が可能。



“賑わい”と“見守り”を基本コンセプトとして、3機能を有する「地方創生拠点」の形成

賑わい

産業振興「道の駅」 ⇒ 交流人口の拡大・地域経済の活性化

- ① 地域間や産官学と連携した観光企画の強化
- ② 買物や休憩、憩いで賑わう空間づくり
- ③ 地域の特産品によるオリジナル商品開発・ブランド化
- ④ 集荷サービス等による直売所の充実



見守り

地域福祉「道の駅」 ⇒ 安全・安心な住民サービスの提供

- ⑤ 高齢者など住民への宅配サービス
 - ⑥ 道の駅への送迎サービス
- 【集荷・宅配サービスと同時に見守り・声かけの効果も】



防災「道の駅」 ⇒ 地域防災力の強化（広域防災の後方支援）

- ⑦ 災害時の受け入れ体制づくり
- ⑧ 防災訓練やPR活動を通じた住民の防災意識の醸成



施策① 観光企画の強化

取組の方向性

駐車場の拡張により大型車両が立ち寄りやすくなる契機を活かし、観光客や来訪者を増やす企画提案や受け入れ体制づくりを行う。

計画の内容

- ・ 観光ルート、観光企画の提案
- ・ 産官学と連携した観光素材発掘（横浜町ファンづくり）
- ・ 受入れ体制の充実
- ・ レストランの魅カアップのために加工グループとコラボ



最終目標年度：令和2年度
現在の達成度 80%

○昨年度の取り組み

○観光ルート、観光企画の提案

- ・ 上十三・十和田湖広域定住自立圏観光推進協議会のパンフレット作製<H29～継続>
5つのコースの広域観光ルートを提案したパンフレットを作成し、広域に配布。
- ・ しもきたTABIあしすとの下北半島旅ガイド「ぐるりんしもきた」による観光情報提供とバスツアー実施<継続>
横浜町を含む下北の市町村の観光情報盛りだくさんの旅ガイドブックの配布及び1日周遊コース（5コース）のバスツアーを実施。

○受入れ体制の充実

- ・ 電子看板を活用したPR実施<H30新規>
町及び道の駅のイベントの事前PR及び施設や産業のPRを動画や静止画にて町内外から道の駅を訪れる来客に広報を実施。

○レストランの魅カアップ

- ・ 横浜なまこフェアの開催（12月）<継続>
- ・ ホタテフェアの開催（3月）<継続>
- ・ レストランメニューの検討<継続>

○今年度の取り組み予定

○観光ルート、観光企画の提案

- ・ 函館アフターデスティネーションキャンペーン実施
函館市で開催された「函館グルメサーカス」への参加。
- ・ 上十三・十和田湖広域定住自立圏観光推進協議会パンフレット作製配布<H29～継続>
- ・ しもきたTABIあしすとの下北半島旅ガイド「ぐるりんしもきた」による観光情報提供とバスツアー実施<継続>

○受け入れ体制の充実

- ・ 電子看板設置を活用したPR<H30～継続>
(観光PR動画、施設やイベント等の情報発信可能に)
- ・ 多言語に対応した小型翻訳機の導入<R1新規>
年々外国人観光客の増により、売り手、買い手が安心してコミュニケーションがとれるよう導入する。

○レストランの魅カアップ

- ・ 横浜なまこフェアの開催（12月）
- ・ ホタテフェアの開催（3月）
- ・ レストランメニューの検討<継続>
ピザ用オーブンを導入。レストランにおいて毎週日曜日限定でピザを提供。



施策② 買物や休憩、憩いで賑わう空間づくり

取組の方向性

道の駅と三保野公園、交流館を活用し、ゆっくりと滞在できる環境を整備し、道路利用者や地域の方々に賑う空間を創出する。

計画の内容

- 三保野公園や交流館の利活用
- 高齢者をはじめ来訪者が休憩できる空間づくり
- イベントや催事などの企画の充実
- レストランの魅力アップ【再掲】



最終目標年度：R2年度
現在の達成度 80%

○昨年度の取り組み

○三保野公園や町の施設の利活用

- 道の駅周辺案内看板の設置

○来訪者が休憩できる空間づくり

- 道の駅エントランスに花のプランターを設置

○イベントや催事などの企画の充実

- 道の駅で、加工団体が交代で毎月イベントの開催
- 館鼻岸壁朝市（八戸）や、産直施設を視察研修
- 青森県内道の駅フェアへの参加・視察

○今年度の取り組み予定

○来訪者が休憩できる空間づくり

- 道の駅エントランスに花のプランターを設置<継続>
なたねの会・菜の花会がボランティアで道の駅管内エントランスに花のプランターを設置及び花壇の整備等で来訪者へ安らぎを与える景観・環境づくり。

なたねの会・菜の花の会に▶
よる環境づくり



○イベントや催事などの企画の充実

- 道の駅で、加工団体が交代で毎月イベントの開催<H29~継続>
- 青森県内道の駅フェア&菜の花プラザ20周年祭開催<R1新規>
県内の道の駅が集結し各特産物を紹介・道の駅開業から20周年を迎えることに伴いイベント開催。
(令和元年10月12日(土)~13日(日)9:30~16:00)



• 道の駅ふたつ（秋田県）との商品交流<H30~継続>

町商工会と能代市二ツ井町商工会が姉妹商工会協定をしてお互いの特産物の交流販売を実施。

• イベントテント等購入<R1新規>

下北半島縦貫道路延伸における横浜インターセクションの設置により利便性が増すこととなるため道の駅利用者の確保に伴うイベント等の継続的な実施及びエリア防災力の強化として災害時にも活用できるようなテント等を購入。

道の駅内ふたつ商品▶
コーナー



施策③ 特産品による商品開発・ブランド化

取組の方向性

これまでの開発した商品のPR活用と、専門家や地域と連携した「地元の食材を活かした商品開発・ブランド化」を推進する。

計画の内容

- 魅力ある商品開発（6次産業化の強化）
- PRや売り場の工夫・改善



最終目標年度：R2年度
現在の達成度 80%

○昨年度の取り組み

○魅力ある商品開発（6次産業化の強化）

- 商品ラベルプリンター導入<H30新規>
- 既存商品のブラッシュアップ<H29～継続>
- 地元子供たちの絵をもとに新商品開発<H29～継続>

○PRや売り場の工夫・改善

- 売り場を季節感あるディスプレイで飾る手作り講習会の開催<H30新規>
- インターンの大学生による特産物加工品に関するガイドブック作成<H30新規>



○今年度の取り組み予定

○魅力ある商品開発（6次産業化の強化）

- 商品ラベルプリンター活用<H30～継続>
加工品等のラベルデザインの向上により消費者が商品に目を向けやすくなる。また、食べ方が浸透していない野菜等に調理方法など丁寧に記載することにより、販売の促進につながり、売れ残りの減につながっている。
- 既存商品のブラッシュアップ<H29～継続>
容器、ラベル、パッケージ等をより消費者が手に取りやすいものへ検討し変更。

○PRや売り場の工夫・改善

- インターンの大学生による特産物加工品に関するガイドブック活用<継続>

道の駅の売り場や町外での物販の際に、関係者すべての人が、加工品の良さやこだわりの知識を共有し、お客様に伝えることができるような内容を記載したガイドブックを大学生に作成していただき、今年度においてはお客様が簡単に手に取って見れるように道の駅館内休憩スペースに設置しており、また、外販及び出張販売等において販売者が商品を説明できる参考書としても活用してる。

▼ラベルプリンター



施策④ 直売所の充実（地産地消）

産業振興

取組の方向性

道の駅の目玉「産直」の扱う品目と品揃えを充実し、来客数増加と地域産業の活性化を図る。

計画の内容

- ・ 売り場の工夫・改善【再掲】
- ・ 集荷サービスの提供



最終目標年度：R2年度
現在の達成度 90%

○昨年度の取り組み

○集荷サービスの提供＜H28～継続＞

- ・ 「(株)よこはまロマン創社」へサービス業務を委託。
- ・ ぐるっと隊（2名）で、車両を購入し、約週3回稼働。
- ・ 集荷宅配サービス専用車（軽自動車）を導入。
- ・ サービス専用携帯電話の導入。

導入したサービス▶
専用車両



○売り場の工夫・改善

- ・ 野菜の種類ごとの陳列及び清潔な売り場づくり＜H29～継続＞
- ・ 道の駅に来る環境づくり（絵画の展示）＜H29～継続＞
- ・ 売り場づくり等に関して専門家による教示。＜H30新規＞
- ・ 出荷者を増やす目的のセミナーと、現出荷者の意識向上と販売戦力を高めるためのセミナーを開催＜H30新規＞

○冬場の品薄時の売り場づくり

- ・ 県内産地直売施設間の商品交流検討及び実施＜H30新規＞
- ・ 冬期の不足野菜の仕入れの検討および実施＜H30新規＞

○今年度の取り組み予定

○集荷サービスの提供＜H28～継続＞

- ・ 「(株)よこはまロマン創社」へサービス業務を委託。
- ・ 道の駅職員がぐるっと隊として、道の駅営業日全日にてサービス提供。

○売り場の工夫・改善

- ・ 野菜の種類ごとの陳列及び清潔な売り場づくり＜H29～継続＞
- ・ 道の駅に来る環境づくり（絵画の展示）＜H29～継続＞
- ・ 高齢者や女性に優しい野菜販売台を入れ替え＜R1新規＞
高齢者の会員方々から集荷業務において野菜販売台の上に手が届かず野菜が置けなく困っているなどたくさんの声が寄せられ、老人や子供の目線で野菜がよく見えるよう、また、高齢者も手が届くような移動式野菜販売台を導入予定。
（13台導入予定）

○冬場の品薄時の売り場づくり

- ・ 県内産地直売施設間の商品交流検討及び実施＜継続＞
- ・ 冬期の不足野菜の仕入れの検討および実施＜継続＞



▲新しい野菜販売台

施策⑤ 高齢者など住民への宅配サービス

取組の方向性

一定のニーズがあり、今後も増加が見込まれることから、既存サービスとの棲み分けや連携を考えながら、実証実験で導入を検討する。

計画の内容

- ・ 宅配サービスの提供
- ・ 宅配サービス先の拡充調査



最終目標年度：R2年度
現在の達成度 80%

○昨年度の取り組み

○宅配サービスの提供<H28~継続>

《H30年度からの変更点》

- ・ 効率かつ継続実施の可能性を高めるため、サービスの業務受託者を「なたねの会」から「(株)よこはまロマン創社（道の駅菜の花プラザ）」へ変更。
- ・ 道の駅営業日の全日でサービス提供可能に。
- ・ 専用携帯電話の設置により、移動中でも連絡可能に。

○今年度の取り組み予定

○宅配サービスの提供<H28~継続>

- ・ 道の駅にある商品（商品カタログ記載）を宅配（無料）
- ・ 温泉や役場ロビーで移動販売を実施（無料）
- ・ 道の駅で購入した重い荷物を自宅まで配達（無料）
- ・ 高齢者の利用者については、利用状況を把握し、見守りを実施。
- ・ 宅配サービスのPR（チラシの毎戸配布、移動販売先近隣への周知）
- ・ 社会福祉協議会の要請による、高齢者が集まる場「いきいき教室」開催時での移動販売（3地区）
- ・ 町内のクリニックや歯科、薬局等にもチラシを置いてもらい周知拡大。



※電話注文金額は、H29年度19件54,879円
H30年度21件・57,449円であり、道の駅購入品の配達は電話注文の件数・金額増の状況から、サービスが浸透して来ていると思われる。

ぐるっと隊チラシ▶
商品カタログ
(商品74品種)

サービス提供日：令和2年2月29日までの道の駅営業日
サービス提供時間：午前9時から午後2時まで

お問合せ ☎080-2841-4981 (ぐるっと隊専用電話)
☎0175-78-6687 (お問合せは「菜の花プラザ」)
※注文は、前日の14時までにお願います。

サービス提供日：令和2年2月29日までの道の駅営業日
サービス提供時間：午前9時から午後2時まで

施策⑥ 道の駅への送迎サービス

取組の方向性

高齢者のニーズが高く、手にとって商品を選び・楽しみたいという声も多いことから、類似サービスや競合店舗と共存できる送迎サービスを構築。

計画の内容

- 送迎サービスの提供（高齢者への声かけ、見守りサービス含む）



最終目標年度：R2年度
現在の達成度 60%

○昨年度の取り組み

○送迎サービスの提供

- 温泉&お買い物バス運行

○今年度の取り組み予定

○送迎サービスの提供

- 温泉&お買い物バスを運行<H28~継続>
- 保健・児童センター建設後のバス送迎計画の検討<新規>

平成29年10月1日からの老人福祉センターバス運行時間が変わります！

『横浜町老人福祉センター所長』

★バスの利用できる人は、70歳以上の方になります。お風呂無料券もご利用できます。

北地区（月曜日）		本町地区（火曜日）		南地区（水曜日）	
乗降場所	時間	乗降場所	時間	乗降場所	時間
佐賀商店さん前	9:50	トレーニングセンター前	9:40	笹野和男さん宅前	9:30
有畑バス停	9:52	石崎正敏さん宅前	9:44	鳥山真人さん宅前	9:38
鷺沢バス停	9:54	旧よこはま保育所バス停	9:46	老人憩の家前	9:39
大豆田バス停	9:56	緑町バス停	9:47	小笠原猛さん宅前	9:41
中山鶴亀さん宅前	9:58	旧農協スタンド前	9:48	ちどり町入口	9:42
楢木北バス停	10:00	新丁バス停	9:49	中吹越バス停	9:44
白浜源治さん宅前	10:01	青い森信用金庫前	9:50	吹越バス停	9:46
ふれあいセンター ☺	10:05	新町バス停	9:51	旧南部小学校前バス停	9:47
		塚名平バス停	9:52	外井礼吉さん宅入口	9:48
		大澤商店前	10:00	旧中山キヌさん宅南側	9:50
		ふれあいセンター ☺	10:05	入谷タケさん宅前	9:56
				向沢入口	9:58
				畠山若三郎さん宅前	10:02
				向平北バス停	10:03
				ふれあいセンター ☺	10:05

＜ 町内巡回バス時刻表 ＞ お買い物や銀行等の用事利用			
ふれあいセンターから役場前	10:08	ふれあいセンターから役場前	10:40
みちのく銀行前	10:09	みちのく銀行前	10:41
農協前	10:12	農協前	10:44
道の駅	10:18	道の駅	10:50
ふれあいセンター ☺	10:22	ふれあいセンター ☺	10:54

- ★ふれあいセンターからの移動で上記の場所へ乗降りができます。
- ★町内での用事や、買い物をして温泉利用も可能になりました。
- ★帰りは、全地区ふれあいセンター（13：45出発）になります。

お問い合わせ先
よこはま温泉 TEL78-6531
役場健康福祉課福祉G TEL78-2111（内線221）



▲道の駅で買い物を終えて乗り込む利用者の様子

温泉バス利用人数

- 温泉バスの利用は、10人から20人くらいだが道の駅利用者は昨年同様、0人から5人程。



▲役場での用事するために、送迎サービスを利用。

施策⑦ 災害時の受け入れ体制づくり



取組の方向性

- 道の駅エリア内の各施設において災害時の受入を想定して、必要な防災機能を確保する。
- 避難生活に対応できる備蓄を行う。
- 災害時に防災拠点としての機能できるよう、各施設間の連絡体制・受け入れ体制を構築する。

計画の内容

- 災害時の役割分担と防災機能強化
- 食料及び生活必需品等の備蓄
- 連絡体制等の構築

○昨年度の取り組み

- 詳細設計
 - ・ 防災除雪ステーション
 - ・ 防災備蓄倉庫 など
- 用地買収

○今年度の取り組み予定

○防災機能の強化

- 施設整備
 - ・ 防災除雪ステーション
 - ・ 防災備蓄倉庫
- 詳細設計
 - ・ 休憩施設及びトイレ
- 用地買収
- 一部造成工事に着手

○連絡体制等の構築

- 地域防災計画見直しのため、引き続き横浜町など関係機関との調整

事業進捗率
53.8%
(R1末見込)

事業内容 道の駅よこはまエリア地方創生拠点のハード整備イメージ

⑤ 防災備蓄倉庫

④ 非常用電源設備

③ 防災除雪ステーション

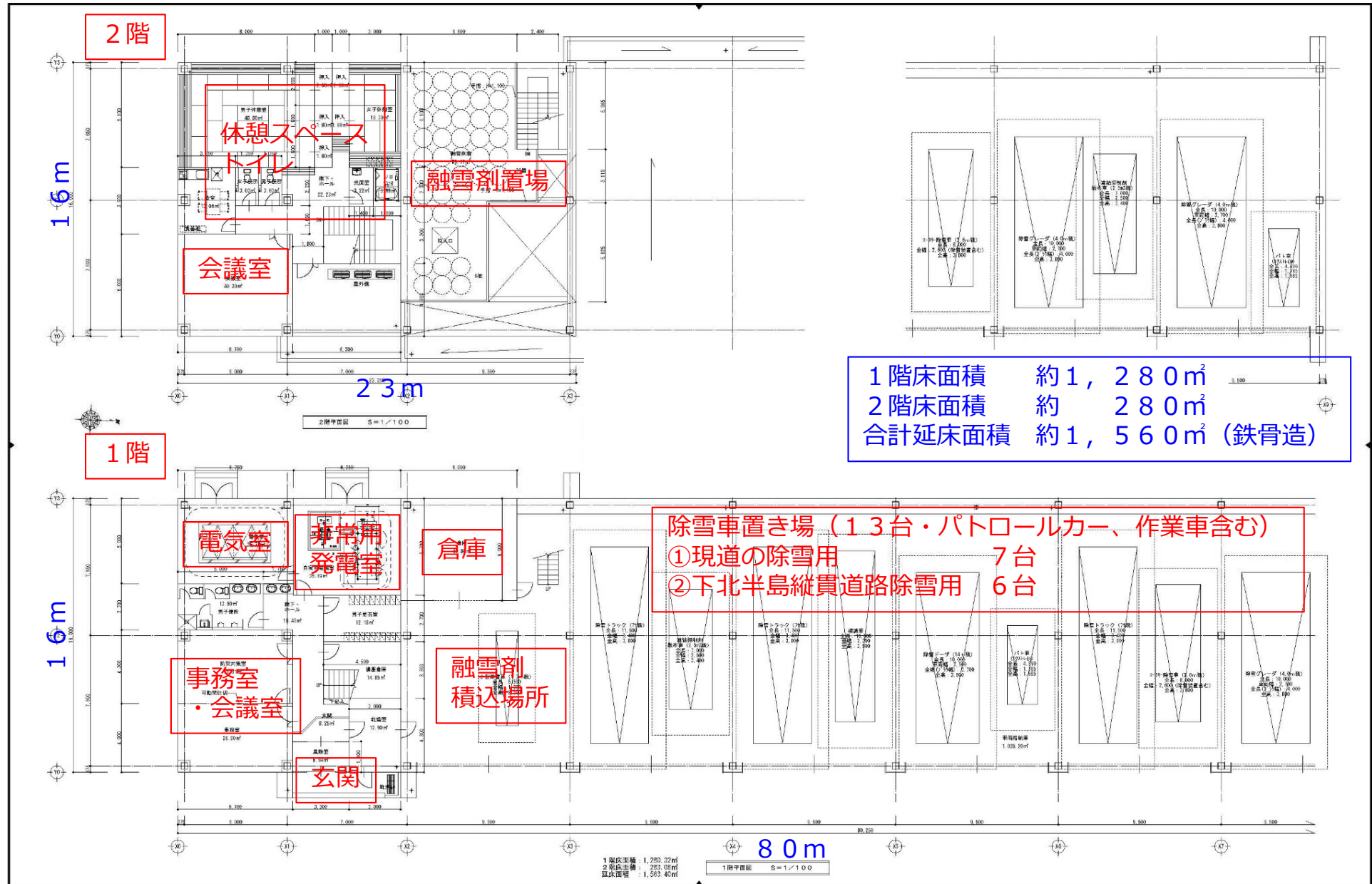
① 駐車場の拡張

② 休憩施設・トイレ

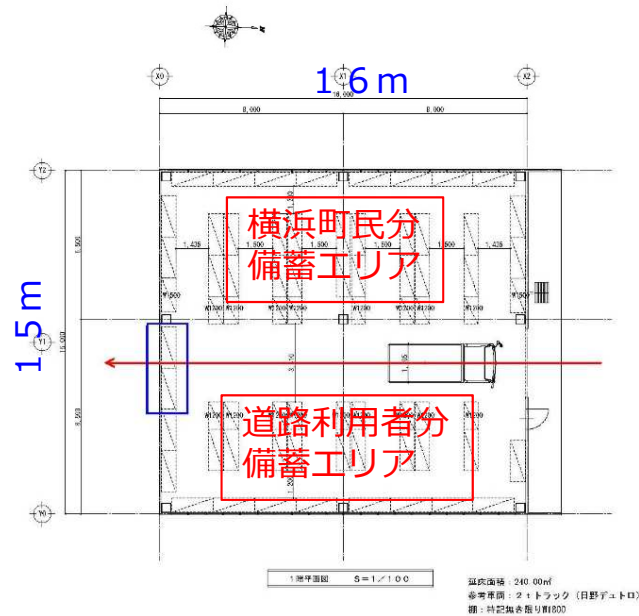
情報提供設備

- ### ○事業の概要
- ① 駐車場拡幅
 - ② 休憩施設、トイレ
 - ③ 防災除雪ステーション
 - ④ 非常用電源設備
 - ⑤ 防災備蓄倉庫

防災除雪ステーション平面レイアウト図



防災備蓄倉庫平面レイアウト図



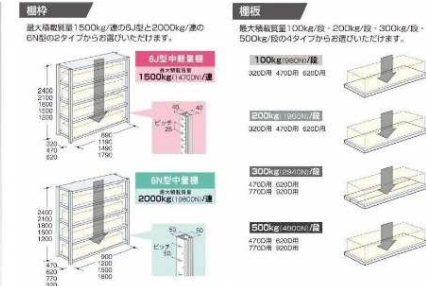
延床面積 約 240㎡ (鉄骨造)

※備蓄品

- 生活用品：毛布、懐中電灯、紙おむつ等
- 食料品：アルファ米、飲料水、ミルク等
- 工具類：ブルーシート、ヘルメット等
- 機器類：発動発電機、テント等

■ マルチモジュールシェルフ

荷重条件に合わせて「棚枠」と「棚板」の組み合わせが自由自在。



ボルトレス構造で組立・移設が簡単。棚連結部の支柱は共有でき、スペースセービングに貢献します。



300kg/段タイプは分割棚板方式を採用。棚板ピッチ変更も容易に行えます。

棚板の浮上りを防止するオカムラ独自構造。

強度のある棚板形状で耐久性・安全性に優れています。

ボルトレス構造・連結型



ボルトレスで組立・移設が簡単。棚連結の支柱は共有できるので、スペースコストセービングに貢献します。

再生樹脂製ベースプレート



ベースプレートは再生樹脂を採用。床面のキズ等を防ぎます。

スリット形状・ピッチマーク



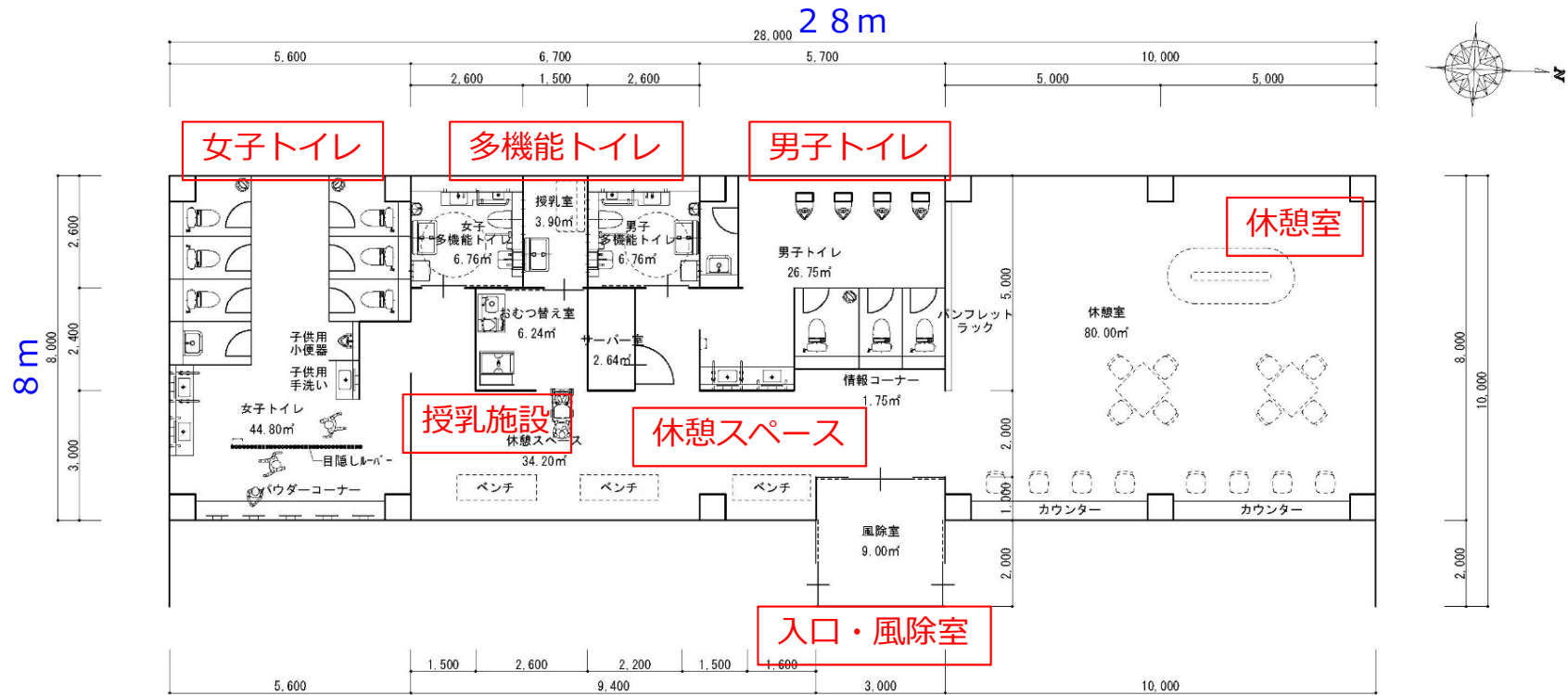
各パーツが取り付けやすいオカムラ独自のT字型スリット形状。6J型はスリットの高さ位置が確認しやすいように100mmピッチでマークを刻印。

● 棚バリエーション



休憩施設トイレの平面レイアウト図 (案)

道の駅よこはまエリア地方創生拠点事業 休憩施設トイレ新築



1階平面図 S=1/100 延床面積: 230.00m² 延床面積 約230m² (RC造)

設置機器		設置器具台数	
男女多機能トイレ	授乳室・おむつ替え室	男子トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 小便器4台 大便器3台 洗面器2台 掃除流し1台 ハンドドライヤー1台
		女子トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 大便器6台 洗面器2台 掃除流し1台 パウダーコーナー5箇所 ハンドドライヤー1台 子供用小便器1台

施策⑧ 防災訓練やPR活動を通じた防災意識の醸成

取組の方向性

- 災害時に地域が適切な対応ができるよう、防災訓練や意識啓発を行う。

計画の内容

- 道の駅エリアを活用した防災訓練
- 防災に関する意識啓発



最終目標年度：R2年度
現在の達成度 70%

○昨年度の取り組み

○防災に関する意識啓発

・横浜町総合防災訓練を実施

役場庁舎にて、初動訓練と、大豆田地区（旧大豆田小学校）にて町民参加型訓練を実施。
同日、心肺蘇生とAEDの使用方法の職員対象講習会を開催。

【初動訓練】

役場職員・消防署
消防団の初動訓練



○今年度の取り組み予定

○防災に関する意識啓発

・横浜町総合防災訓練を実施【継続】

役場庁舎にて、初動訓練と、本町地区（横浜町役場）にて町民参加型訓練を実施。
同日、心肺蘇生とAEDの使用方法の職員対象講習会を開催。

・道の駅よこはま防災訓練を実施【継続】

社員の初動訓練を実施。

【町民参加型訓練】



▲避難誘導訓練



▲初期消火訓練



◀炊き出し訓練